

熊避け電気柵の設置と熊対策についての注意事項とお願い

武蔵野市立自然の村 村内地図

熊避け柵 (Red dashed line)

鹿防護柵 (Green dashed line)

ゲート上部に張っている4本の
金属線に電流が流れています

害獣撃退装置

熊に関する注意事項

1 熊を不用意に寄せ付けないために

熊避け柵内に熊が強い興味を持つ「誘引物」があると、柵を越えて侵入をする原因となります。利用時は以下の点にご留意ください。

- ・野外に食料、ゴミ等を絶対に放置しないでください。
- ・食材は屋内で保管し、ゴミはゴミ集積コンテナ内に捨ててください。
- ・塗料などの有機溶剤やガソリン等の油類にも、熊は興味を示します。室内で管理してください。

また、施設内で以下の事項が確認された場合はスタッフまでご連絡ください。

- ・熊避け柵内への熊の侵入
- ・熊避け柵の破損
- ・蜂の巣（誘引物となるため）

●熊避け柵内に熊の侵入が確認された場合には、キャビン地区内に放送にてお知らせします。

速やかに建物内に避難し、安全確認後、誘導があるまで待機をしてください。

万が一、熊と遭遇した場合には下記の3項を参照し、落ち着いて行動してください。

2 熊に出会わないために

- ・熊避け柵外のハイキングコースを利用される場合は、事前に管理人に申し出、必ずベアベル（熊鈴）を携帯してください。（中央棟で貸出しあり）
- ・熊撃退用スプレーをご持参いただくことをお勧めいたします。
- ・見通しの悪い場所、ベアベルの音が聞こえづらい沢沿いなど、こちらの気配に熊が気づきづらい所は特に注意して通行してください。
- ・冬眠中でも熊はすぐに動くことができます。熊が冬ごもりをしている可能性のある、木や岩の下（くぼみ）などをのぞき込むことは大変危険です。そのような場所を見つけた場合は注意して通過しましょう。

3 熊と遭遇してしまった時

遠距離の場合

- ・立ち止まって熊の行動を観察してください。
- ・熊がこちらに気づいていなければ、物音を立てずに立ち去りましょう。
- ・熊がこちらに気づいている場合は、立ち止まって観察、熊が目をそらしたら少しずつ距離を取りましょう。

20m以内の場合

- ・大声や音を出さずに熊を観察、熊が目をそらしたら、安全な距離が取れるまでゆっくり後ずさりしましょう。（逃げるものを追う習性があるので、絶対に走って逃げないでください）

熊が近距離でこちらに向かってきた場合

- ・近くに木の切れ端などがあれば、武器にしたり大声を出したりして威嚇する。
- ・（熊撃退用スプレーを持参していれば）熊が2m程度まで接近したら、熊の鼻先目掛けて、熊が逃げるまでスプレーを噴射し続けます。
- ・（スプレーがなければ）うつ伏せになって両手で首、後頭部を押さえて致命傷を防ぎましょう。ザックがあれば、ザックで頭部を守りましょう。

